

# CREATE-SIMPLE ver 2.5

- サービス業など幅広い職場にむけた簡単な化学物質リスクアセスメントツール -

- 説明 -

- リスクアセスメントとは、労働者の安全や健康への影響について評価をすることです。
- CREATE-SIMPLEは、労働者の健康（吸入・経皮）への影響と物質の危険性について評価し、対策の検討を支援します。
- SDSを確認して対象物質を決定し、以下のSTEP1から順番に入力してください。

No : 1  
実施日 : 2023/11/8  
実施者 :

結果呼出 入力内容クリア

## 【STEP 1】対象物質の基本情報を入力しましょう。

タイトル	ゴムシート製作過程における接着作業		
実施場所	ゴムシート加工場		
製品名等	ボンドG17		
作業内容等	接着剤をゴムシートの片側に塗布後、張り合わせる		
CAS番号		CAS番号から入力	
物質名		物質一覧から選択	
リスクアセスメント対象	<input checked="" type="checkbox"/> 吸入 <input type="checkbox"/> 経皮吸収 <input type="checkbox"/> 危険性（爆発・火災等）	性状	<input checked="" type="radio"/> 液体 <input type="radio"/> 粉体 <input type="radio"/> 気体

※気体の場合には危険性（爆発・火災等）のみ対応しています。

## 【STEP 2】取扱い物質に関する情報を入力してください。

非表示にする

### ○ばく露限界値

日本産業衛生学会 許容濃度		ppm	ACGIH TLV TWA		ppm
日本産業衛生学会 最大許容濃度		ppm	ACGIH TLV STEL		ppm
「皮」または「Skin」の表示			ACGIH TLV C		ppm

### ○GHS分類情報

爆発物		自然発火性液体		急性毒性（経口）		皮膚感作性	
可燃性／引火性ガス	区分2	自然発火性固体		急性毒性（経皮）		生殖細胞変異原性	
エアゾール		自己発熱性化学品		急性毒性（吸入：ガス）		発がん性	
可燃性／酸化性ガス		水反応可燃性化学品		急性毒性（吸入：蒸気）		生殖毒性	区分2
高圧ガス		酸化性液体		急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）		特定標的臓器毒性（単回）	区分2
引火性液体		酸化性固体		皮膚腐食性／刺激性	区分2	特定標的臓器毒性（反復）	区分1
可燃性固体		有機過酸化物		眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2	誤えん有害性	
自己反応性化学品		金属腐食性物質		呼吸器感作性			

※区分2Aなど、区分2が細区分されている場合には区分2として扱う。区分に該当しない場合（分類対象外、区分外、分類できない）には空欄とする。

### ○物理化学的性状

分子量		-	水溶解度		単位選択
水／オクタノール分配係数（log Kow）		-	蒸気圧		単位選択
引火点		℃	皮膚透過係数（Kp）[自動入力]		cm/h

## 【STEP 3】以下の質問に答えましょう。

Q.1 揮発性（沸点）はどのくらいですか。 ?  
必須

Q.2 製品の取扱量はどのくらいですか。 ?  
必須

Q.3 対象物質の含有率はどのくらいですか。 ?  
必須

Q.4 スプレー作業など空中に飛散しやすい作業を行っていますか。 ?  
必須

Q.5 化学物質を塗布する合計面積は1m<sup>2</sup>以上ですか。 ?  
必須

Q.6 作業場の換気状況はどのくらいですか。 ?  
必須

Q.7 1日あたりの化学物質の作業時間（ばく露時間）はどのくらいですか。 ?  
必須

Q.8 化学物質の取り扱い頻度はどのくらいですか。 ?  
必須  ⇒ 必須  日/週

Q.9 どのような呼吸用保護具を装着していますか。【オプション】 ?  
種類  フィットテストの有無

任意

Q.10 化学物質が皮膚に接触する面積はどれくらいですか ?  
不要

Q.11 取り扱う化学物質に適した手袋を着用していますか ?  
不要

Q.12 手袋の適正な使用方法に関する教育は行っていますか ?  
不要

Q.13 化学物質の取扱温度はどのくらいですか ?  
不要  ⇒ 不要  ℃

Q.14 着火源を取り除く対策は講じていますか ?  
不要

Q.15 近傍で有機物や金属の取扱いがありますか ?  
不要

Q.16 取扱物質が空気又は水に接触する可能性がありますか ?  
不要

## 判定結果（有害性リスク）

危険有害性の程度		?
管理目標濃度（吸入）	0.05	～ 0.5 ppm
ばく露限界値（吸入）		ppm
ばく露限界値（経皮）		mg/day
眼や皮膚への局所影響	S	

※リスクの判定ではばく露限界値を優先します。

×

ばく露の程度		?
推定ばく露濃度	5	～ 50 ppm
推定経皮吸収量		mg/day

||

リスクレベル		?
合計（吸入＋経皮）	IV	
吸入	IV	
経皮吸収		
眼や皮膚への局所影響	S	

至急リスクを下げる対策を実施しましょう。  
目や皮膚に有害な影響があります。適切な労働衛生保護具を着用しましょう。

## 判定結果（危険性リスク）

判定結果（危険性リスク）		?

※プロセス等で化学物質を用いる場合には、詳細なリスクアセスメントを実施しましょう。

## リスクアセスメント実施レポート

- 説明 -

- リスクアセスメントシートで実施した結果が表示されます。
- このシートでリスク低減措置の内容を検討し、労働者に周知を行いましょ。

No : 1

実施日 : 2023/11/8

実施者 :

結果呼出   入力内容クリア

タイトル	ゴムシート製作過程における接着作業
実施場所	ゴムシート加工場
製品名等	ポンドG17
作業内容等	接着剤をゴムシートの片側に塗布後、張り合わせる
CAS番号	
物質名	

		項目	現状	対策後	リスク低減対策の検討
有害性	管理目標濃度（吸入）[ppm]		0.05 ~ 0.5	0.05 ~ 0.5	※以下のQ1～Q16の選択肢を変更し、 【再度リスクを判定】をクリックすることによって、 リスク低減対策後の結果が表示されます。
	ばく露限界値（吸入）[ppm]				
	ばく露限界値（経皮）[mg]				
	目や皮膚に有害な影響		S	S	
	Q1.揮発性・飛散性		わからない	わからない	
	Q2.取扱量		少量（100mL以上～1000mL未満）	少量（100mL以上～1000mL未満）	
	Q3.含有率		25%以上	25%以上	
	Q4.スプレー作業の有無		いいえ	いいえ	
	Q5.塗布面積1m <sup>2</sup> 超		はい	はい	
	Q6.換気レベル		換気レベルC（工業的な全体換気）	換気レベルD（外付け式局所排気装置）	
	Q7.作業時間		4時間超～5時間以下	4時間超～5時間以下	
	Q8.作業頻度		4日/週	4日/週	
経皮	Q9.呼吸用保護具[任意]				換気レベルD（外付け式局所排気装置）
	フィットテストの方法				4時間超～5時間以下
	Q10.接触面積				週1回以上   4   日/週
爆発・火災	Q11.化学防護手袋				
	Q12.保護具の教育				
	Q13.取扱温度				℃
	Q14.着火源の対策				
リスク判定結果	Q15.有機物、金属の取扱い				
	Q16.空気、水との接触				
	推定ばく露濃度[ppm]		5 ~ 50	0.5 ~ 5	
	推定経皮吸収量[mg]				
	合計（吸入＋経皮）		IV	III	
	吸入		IV	III	
	経皮吸収				
眼や皮膚への影響		S	S		
爆発火災					
リスクレベル（有害性）の説明		至急リスクを下げる対策を実施しましょう。目や皮膚に有害な影響があります。適切な労働衛生保護具を着用しましょう。	リスクを下げる対策を実施しましょう。目や皮膚に有害な影響があります。適切な労働衛生保護具を着用しましょう。		
リスクレベル（危険性）の説明					

※リスク判定に用いたリスク低減対策よりも法令事項の方が厳しい措置である場合は法令が優先されます

- （自由記述） 検討したリスク低減措置の内容、実施時期等

保存

- （自由記述） 備考